

次期「まちづくり構想 福知山」策定支援業務の公募型プロポーザルにおける質疑回答

令和8年4月8日更新

質問	回答
<p>募集要領の3参加資格の(1)につきまして、現在、これに該当する業務を受託しておりますが、まだ、業務中となっております。この段階を「実績がある」と考えていただくことはできますでしょうか。</p>	<p>現在受託中であっても「実績がある」とします。現在業務を請け負っていることがわかる資料をご提出ください。</p>
<p>業務の再委託は認められますでしょうか？ 認められる場合は、上限割合等の条件はございますでしょうか？</p>	<p>業務を一括、または仕様書において指定する主たる部分を再委託することは認められません。 【仕様書において指定する主たる部分】 仕様書 5 業務内容 (1)、(3)、(4)にかかる業務</p>
<p>共同入札でも参加することはできるでしょうか？(共同企業体等)</p>	<p>1者での参加を想定しているため、共同入札(共同企業体等)では参加できません。</p>
<p>オンラインプラットフォームの『統計分析機能及び統計分析結果の表示機能』について、分析処理を外部システムで行い、その結果をプラットフォーム上で表示する構成は、本仕様を満たすと解釈してよいか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
<p>『市民の参加を広げるための手法』の提案において、福知山市が既に運用している既存の情報発信チャンネル(SNS、メール配信等)との連携を前提とした提案は可能か。また、市側でそれらチャンネルを通じた周知にご協力いただけるか。</p>	<p>現在運用している情報発信チャンネル(広報誌、市ホームページ、LINE、Facebook、Instagram)との連携を前提とした提案は可能です。 市が実施するSNSやホームページ等での周知に対して、認知度を高め市民の参加を広げるための手法の提案や運用の支援をいただくことを想定しています。</p>

<p>オンラインプラットフォームの運用期間について、本業務の委託期間（令和8年3月31日まで）終了後の継続運用は想定されているか。想定されている場合、運用主体と費用負担について現時点での方針をご教示いただきたい。</p>	<p>現時点では継続運用は想定していませんが、業務実施の中で変更になる場合があります。（継続運用となった場合は別途運用主体等の詳細を別途調整させていただきます。）</p>
<p>『評価プロセスの構築』において『AI等を活用した効果的かつ効率的なプロセス』とあるが、現行の施策レビュー・事務事業評価における具体的な課題認識（例：評価の負荷、指標設定の困難さ、市民への可視化等）があればご教示いただきたい。</p>	<p>お示しのとおり成果指標の設定や市民への広報広聴の困難さ、職員の負担感が主な課題であると認識しています。</p>
<p>本業務で構築するオンラインプラットフォームと、現在運用中の『福知山市2040年市民会議』で使用しているプラットフォームとの関係性について伺いたい。提案の中に、既存プラットフォームの継続利用・拡張を含めることが認められるか、あるいは新規構築が前提か。</p>	<p>提案の中に既存のプラットフォームの継続利用・拡張を含めることは認めます。</p>